

平成25年守谷市議会第1回定例会会議録

平成25年6月 市政に関する一般質問

次、通告順位9番、梅木伸治君、登壇を願います。

梅木伸治君。

〔19番梅木伸治君登壇〕

○19番(梅木伸治君) 通告順番が9番、梅木伸治でございます。今回は、質問に関しては1点だけでございます。子育て支援についてでございます。よろしくお願いいたします。

今回は、子育て支援についての質問は私を含めて4人程度いらっしゃいます。4人の方が質問をされております。子育て、少子化対策に関しては非常にまだまだ関心が高いと、やはり守谷市にとっても大切なファクターであるなというふうな感じがしております。

さて、早々子育て支援について質問に入りたいと思います。先般、職員の方から教わりました2040年には全国で2,000万人の人口が減ると、そんな値が出ていると。また、ゼロ歳から14歳の人口は610万人が減り、65歳以上の人口が910万人ふえる推計ということでございました。茨城県、今300万人弱でしょうか。これが610万人ということですから、すごく大きな数であるなというふうに感じるところでございます。そんな中で子育て支援について、執行部の施策に関してお尋ねしたいと思います。

数年前、行政がとっていただいたアンケートでは、仕事、子育てを両立させる上で大変だと感じることはどんなことか、急な残業が入ってしまう、自分の病気等、面倒を見る人がいない、自分が病に伏したときに面倒を見る人がいないというようなことや、また、支援サービスの中では、母親学級、両親学級、育児学級の利用、また、児童館の利用、こういったものも非常に多くなっているというところでは、多分、行政の見ている部分と市民のニーズ、おおむねヒットしているんじゃないかなというふうな感じがしておりますが、改めて現在の施策、今後の思いをちょっと聞かせていただければと思います。

○議長(松丸修久君) 保健福祉部長横瀬 博君。

○保健福祉部長(横瀬 博君) お答えします。

まず、福祉部門関係の子育て支援ですけれども、6分野にわたり支援施策を実施しております。一つ目は、妊娠、出産、二つ目に、親子の健康、三つ目に、子育て悩みの相談、四つ、親子で学ぶ、五つ、子供を預ける、教育する、六つ、手当制度のこの六つの分野にわたり支援策を実施しているところでございます。

子供を預けるにつきましては、ゼロ歳から11カ所の保育所、公立2カ所、私立9カ所において通常保育を実施しております。公立では最長午前7時から午後7時までの保育、私立では最長午前7時から午後10時までの保育が可能になっております。また、休日保育や保護者の就労、看護など、一時的な預かり保育、これは私立の5カ所ですけれども、で実施や、病気回復期の預かり保育、医療機関1カ所でもお願いしておりますけれども、こういうものがあります。家庭保育士における子供を預けるにつきましては、子育て支援センターにおいて子育て中の親子が気軽に集い、大人も子供も互いに学び、育ち合い、支え合う広場を開催しております。

また、育児相談も行っており、育児不安の解消、子育てに必要な情報の交換の場や地域との交流の場として役割を担っております。ファミリーサポートセンターにおきましては子育て支援するため、支援を受けたい方、支援をしたい方で行う会員制の事業があります。

そのほかに、また予防接種事業につきましては、早くから子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水ぼうそう、おたふく風邪、B型肝炎などの任意予防接種の補助を行いました。

さらに、子育ての扶助費としましては、児童手当や児童扶養手当などを実施しております。

以上です。

○議長(松丸修久君) 梅木伸治君。

○19番(梅木伸治君) 幾つかの事業を今紹介していただいたわけですが、そんな中で、二つ目の児童クラブの受け入れ時間についてというところに進むわけですが、先般、高梨恭子議員の方から、放課後子供プラン、児童クラブに関して質問がございました。そんな中で、るる説明、答弁がございましたので、私は、そこ重なってしまいますので、そこは質問をしないようにいたしますが、そんな中で、就学前の子供たちは保育所で朝7時から預かってもらえる。後ろの部分は、勤労保護者の援助ということで午後7時までやっているようですけれども、私の目指すところは朝の部分でございます。働く保護者の方から、保育所同様午前7時からの預かりというふうな要望が私の耳に入っております。多分、市の方にも、そういった要望が出ているかと思えます。

私は、この辺せひとも、どのぐらいの経済的なものがかかるかわかりませんが、ヒアリングの中で、その辺も精査していただいたかと思えます。現在、民間というんですか指定管理者というのかな、行政がやっているところではないですから、随分そこが柔らかくなったというか、緩和されたというか、やりやすくなったのかなというところもあるかと思えます。当然、行政の厳しさはあるかと思えますけれども、多くはないのかもしれませんが、やはり少なからずやそういうふうな思いがある、保護者の方の思いをせひとも受けとめていただきたいのが、今回の私の趣旨でございます。その辺のお考えとかございましたらお聞かせ願いたいと思えます。

○議長(松丸修久君) 教育部長染谷 隆君。

○教育部長(染谷 隆君) お答えをいたします。

児童クラブの件と聞いておりますので、私の方からお答えをさせていただきたいと思えます。

現在、児童クラブにつきましては、長期間の休みの場合ですけれども、朝の7時からお預かりをさせていただいております。原則6時までということで、必要があれば7時まででは延長できるというような規則になってございます。

ご質問の児童クラブにおける早朝の預かりについてでございますけれども、指摘のありましたとおり……失礼しました、午前7時半からです。午前7時半から原則午後6時まで、必要があれば午後7時までということで実施をしている状況でございます。

児童クラブにおける早朝の預かりについてでございます。私の質問等でも何件か要望が出ております。仮に実施するとした場合、現在、事業運営を、今ご指摘ありましたように民間業者に委託していますことから、契約の変更、あるいは指導員の人員確保、募集等など、事業者との協議が必要になってまいります。さらに、実施するに当たりましては、予算といえますか費用が必要となってきますので、延長時間について、有料、無料の判断も行わなければなりません。そのことは条例規則にやはり載っていることでございますので、一朝一夕にできることではないということをご理解いただきたいと思えます。

いずれにいたしましても、早朝、朝何時になるか、通常保育所ですと7時からということでございますので、そういうことを考え合わせ、保育需要がどれぐらいあるのか、それらを見きわめる必要があるんじゃないかというふうにご考えております。今回の夏休み期間中にアンケート等を実施させていただきまして、その結果により、今後実施していくべきか、それらを検討してまいりたいと思えます。

また、実施の場合については、先ほど言いましたように費用がかかるものですので、予算措置の方にも改めてお願いするようなことになるかというふうに思えます。

以上です。

○議長(松丸修久君) 梅木伸治君。

○19番(梅木伸治君) この場で私の提案とか出ていようと、また、ここ的一般質問で私からの提案をさせていただいたわけですが、そんな中でも、はいわかりましたということにはいかないことは十二分に承知でございます。当然それなりのアンケートなり調査をしていただいて、公金ですから、本当にそのニーズがあるのか、需要と供給はどうなんだということを精査していただくということが大切かと思えます。今、私が話したように、守谷市から都内に勤務の方とか、また、始業時間が8時の方というのはまだまだいらっしゃるのかな。そんな中では、就学前は7時だけれども、小学校に入ると7時半というのは少し小学生になった瞬間にちょっと冷たいんじゃないのというふうな感じもします。段階的になるかもしれませんけれども、せひとも前向きに検討していただいて、この施策反映していただきたい、ぜひお願いするところでございます。新しい試みというか、現在の試みの拡大ということになるかと思えます。この辺に関しては、やはり市長の思いも十分に入るところだと思えますので、市長の思いが、もしその辺ご理解いただけるようだったら、ちょっとお話を聞かせていただきたいと思えます。

○議長(松丸修久君) 市長会田真一君。

○市長(会田真一君) 子育て支援の一環ということで学童、児童クラブも行っているわけですが、当然、今部長の方から答弁をいたしましたように、この件に、児童クラブに関しましては条例もございます。いろいろな精査もしなくてはいけないと思えますので、その辺は十分検討させていただいて、なるべく早い時期に結論を出していきたいというふうに思えますので、若干時間をいただきたいというふうに、いい方向でいけるようにしていきたいと思えますので、若干時間をいただきたい。

○議長(松丸修久君) 梅木伸治君。

○19番(梅木伸治君) いい方向でという回答でございますので、いい方向になるんでしょうが、いい方向になるべく早くこまを進めていただきたい。この時期ですから、夏休みというのはちょっと時間的に無理もあるかと思えますので、ことし末、冬休み、また次年度に至っては、そういうふうな、たった30分、されど30分かもしれませんが、ぜひ市民の大切な思いを聞いていただきたいというふうに思えます。

先ほども別の議員の方の質問の中に、不満をなくすというような話もございました。私は、第一義は不安をなくすことであると、それが私の第一義でございます。そんな中で、不安、不満、いろいろな市民の思いはあるかと思えますけれども、その一つとして市民の要望をかなえてやっていただければなというふうに切にお願いをするところでございます。

私の方の一般質問はこれで終了したいと思えます。ありがとうございました。

○議長(松丸修久君) これで梅木伸治君の一般質問を終わります。